

令和4年3月22日	
資料提供	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担当者	主任学芸員 大河内
電話	073-436-8670(博物館代表) 090-9546-6094(大河内携帯)

高野町・大滝丹生神社への「お身代わり仏像(神像)」の奉納について

県立博物館では、県立和歌山工業高等学校、和歌山大学教育学部の協力を得て、3Dプリンターを用いた文化財の精巧な複製を作り、文化財の防犯や防災の対策への活用を図っています。高齢化や人口減少などの要因により、管理や保全が困難になっている地域の寺社にある文化財を博物館で保管し、かつ、信仰されてきた環境を維持するための取り組みで、平成24年度から令和3年度までに、県内16か所の寺社に30体の「お身代わり仏像(神像)」を安置しています(※今回奉納分を含むと17ヶ所・32体)。

このたび、一昨年から製作していた高野町大滝の大滝丹生神社に安置するお身代わり神像が完成し、下記日程にて奉納することとなりましたので、お知らせします。

現地には製作に携わった県立和歌山工業高等学校の生徒(昨年度卒業生)と、着色作業を行った和歌山大学の学生が訪れ、完成したお身代わり仏像を地域住民の代表者にお渡しし、交流を図ります。

なお、今回の奉納は、生徒(卒業生)・学生が地域の方々と交流を行うことで学びをより充実したものにするとともに、住民がお身代わり仏像(神像)を身近に感じていただく機会とすることを目的としています。

日時 令和4年(2022)3月24日(木) 10時30分ごろ~12時終了予定

場所 大滝丹生神社(伊都郡高野町大滝27) ※大滝集会所(おおたき山の学校)脇
車は集会所周辺の広場に駐車してください。道が狭いので、十分注意してお越し下さい。

奉納像 丹生明神坐像・高野明神坐像の、3Dプリンターで製作したお身代わり神像2体

参加者 大滝地区住民及び関係者、県立和歌山工業高校産業デザイン科昨年度卒業生・教員
(予定) 和歌山大学教育学部学生、高野町役場関係者

内容 大滝丹生神社へのお身代わり仏像(神像)の奉納式典。生徒・学生と地域住民の交流。

当日連絡先 主任学芸員 大河内智之(090-9546-6094)・世話役 中谷至告(090-7786-5575)

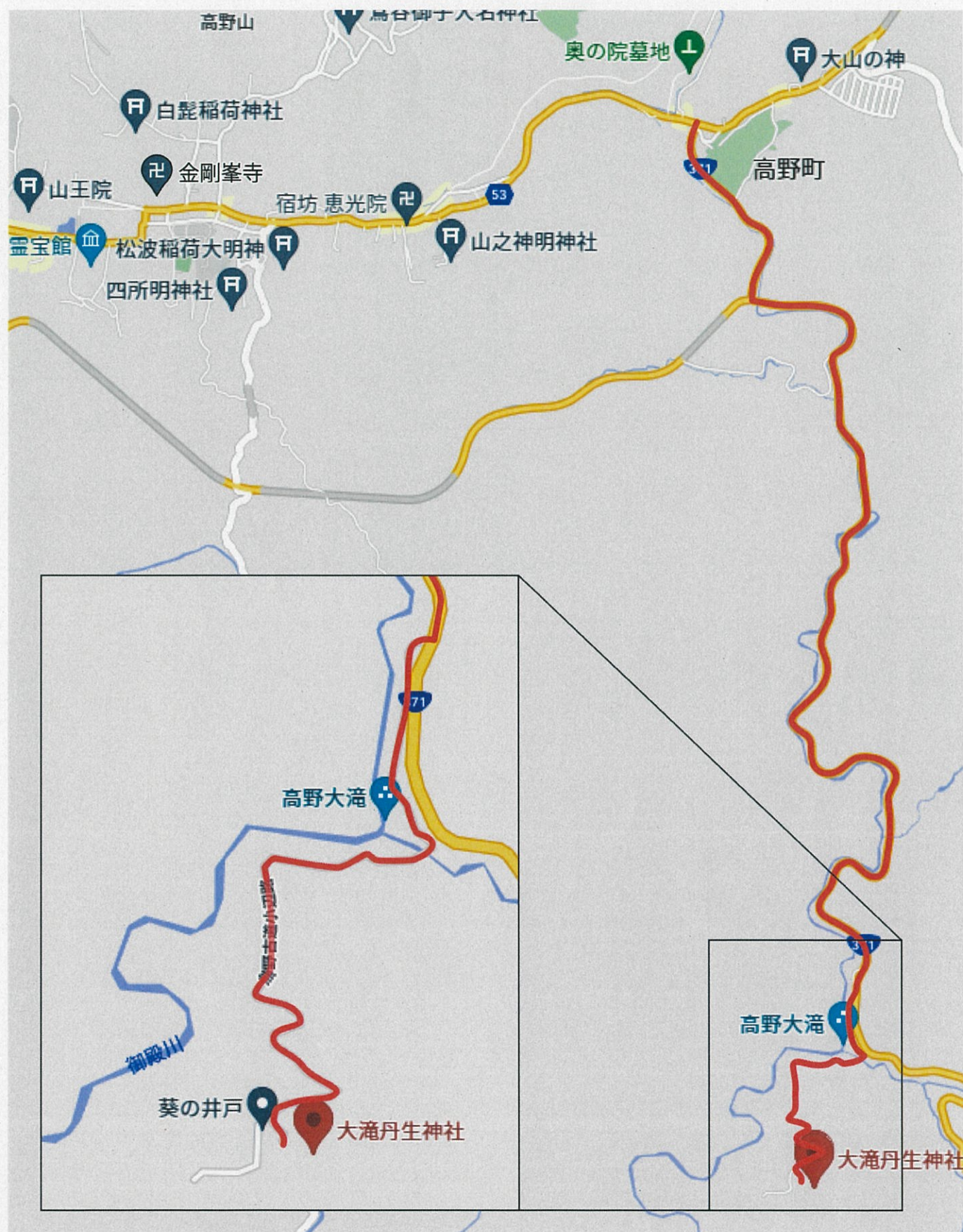


左2体実物 右2体お身代わり仏像(神像)

丹生明神坐像・高野明神坐像 像高21.6cm・21.5cm

高野町大滝地区の産土社、大滝丹生神社に伝わった神像です。下ぶくれの輪郭で年若く見える風貌には生彩があり、およそ南北朝時代(14世紀)ごろの作風を示しています。白い肌で頬に紅をさす表現は神像を描いた絵画の中に類例があるもので、神の力の若々しいことをあらわす表現とみられます。大滝地区は鎌倉~南北朝時代に、高野山と吉野蔵王堂との間で領域を巡る係争が続いたところで、本像造像の背景には高野山の直接的な関与があったとみられます。令和元年に新たに見いだされた重要作例です。

大滝丹生神社周辺地図



※大滝丹生神社（伊都郡高野町大滝27）の境内に入る、最後の登り口（左カーブ）はとても狭いため運転にご注意下さい。車両進入に不安があるようでしたら、通り過ぎて、集落内の路肩などに駐車して下さい。

3Dプリンター製お身代わり仏像の制作方法



(図1)



(図2)



(図3)

- ① 3Dスキャナーを用いて資料を様々な角度から非接触で計測(図1)。
- ② 得られた3DデータをCADソフトを用いて修正(図2)。
- ③ 3Dプリンターを用いて、ABS樹脂やASA樹脂等で出力。
- ④ 部品の接着、表面の研磨等による下地仕上げ。
- ⑤ アクリル絵の具を用いて彩色し完成(図3)。

製作にあたっては、和歌山県立和歌山工業高等学校産業デザイン科の担当教員と調整の上、実習時間にあわせて学芸員が資料を輸送し、生徒と計測やデータ修正の作業を進めています。完成したデータは3Dプリンターで出力し、各パーツは博物館職員によって表面をアセトンで融解したりサンドペーパー、ルーターを用いて研磨した後、接着して隙間をエポキシパテで埋め、ジェツソを塗布して下地処理を行います。その上で、ミュージアムボランティアに登録した和歌山大学教育学部学生が博物館内でアクリル絵の具を用いて着色しています。